

※世界遺産登録20周年記念事業スローガン:『われらがつなく、合掌文化!!!』

守る会ホームページ!! <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>



白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 平成27年7月号

第38回全国町並みゼミ豊岡大会開催!!

6月12~14日、兵庫県豊岡市の城崎温泉・竹野地区等を会場に、みだしの会が開催されました。守る会からは、板並和夫氏と和田の2名が参加。14日に村内のイベントが重なっていたため、2日間の参加となりましたが、以下にその概要の一部を紹介し報告といたします。

1日目、開会式の後、西村幸夫先生の基調講演。「まちに刻まれた想いと生活文化を未来へ」を演題に、永年町並みゼミに参加をされてきた想いや町並み保存の歴史と今日的課題、町並みと共にある生活文化を発信していくことの大切さを熱く語っていただきました。続いて開催地(城崎・出石・豊岡・竹野)からの報告の後、各地からの報告12件。白川村を代表して和田が、世界遺産登録20周年記念各種イベントのPRと守る会の取り組みについて発表しました。次にブロック別会議で東海地区に参加。来年度の開催が7月8~10日に福島県大内宿及び前沢地区であること、再来年の第40回大会を東海ブロックで開催したい旨の話がありました。夜は歓迎交流会。全国各地から集まった仲間と交流を深めました。



【西村幸夫先生による基調講演】



【木造3階建ての旅館が並ぶ城崎温泉】

駅が玄関、道路は旅館の廊下、旅館は各部屋、お泊まりいただいたお客様は、何か所でもゆったり外湯巡りを楽しむことができる「おもてなし」の精神。また、旅館内には土産物コーナーを置かず、町内の物産店で買い物をしていただく「共存共栄」の町づくり。復興から90年近く経った今も、それらの考え方が息づいている素晴らしさを感じました。午後の分科会では、町づくりを手がける会社取締役、老舗旅館の若主人、豊岡市長らをパネリストに招き熱い談義がなされました。防火・耐震基準等で増改築が制限される木造3階建ての旅館を維持し活用していくための法制度や登録有形文化財へのまちぐるみでの取り組み、住民のライフスタイルの変化や後継者不足といった問題。様々な困難に市長自らが「町並みの維持と活性化」にむけて立ち上がるリーダー性と、若い後継者や町づくり会社が連動して一体となって取り組む姿に、感銘を受け帰って来ました。 【文責:和田】



【第1分科会での熱の入った談義】

2日目、第6分科会会場の竹野町は、豊岡市の日本海に面した戸数約600戸の町で、19世紀中頃から明治に北前船の中継地として栄えました。現在は漁業とともに海のきれいな竹野浜海水浴場が1シーズン約20万人の客を呼び込み、60余りの民宿等を支える重要な産業となっています。

集落は竹野町を南北に縦断する竹野川の河口に集中しており、家屋は海からの強い季節風に耐えられるようツマの部分に海に向け、出入口を海に対して直角方向になるように作られ、通路を細く（1～3m程度）し密集して建設することで集落全体を風雪から守られるようにしています。家屋は平均して小さく、土台に町内から生産される青井石が使われ、壁は土で外側を焼き杉板（シビキ）で覆い、屋根は瓦で棟に青井石が使われている家もあります。特徴的なのは外壁を覆う焼き杉板の壁で、海からの強風雪から土壁を守るために張られています。焼き杉板は表面を焼いて炭化することで固く締めり砂交じりの風にも耐えられ、撥水性の高まりで雨・雪の水を浸み込みにくくしています。焼き杉板は家屋では横張り（鎧張り）、倉では縦張りが多く、40～50年で張替えます。



【ツマを海側に向けた焼き杉の家】

明治初期に大火がありました。以前の町割で復興され、現在も細い路地に焼き杉板の家屋が多く残存します。中には築100年以上の文化財級の建物もあり、東京大学の西村幸夫先生は「このままでも重伝建だ」と、その文化財的価値を絶賛していました。



【細い路地の町並み、先は海や河口へ】

竹野町ではこの特徴的な町並みや家屋に対して特別な規制や保護対策をしていますが、家屋の建て替えや改修に当たって自主的に焼き杉板を使用して周囲の景観との調和に努めています。住民に焼き杉板の家屋が自然の姿で根付いているものと思われませんが、その意識には感心せざるを得ません。町を視察する中で、路地で一人土と遊ぶ子や語り合う住民も見られ、ごく自然な生活感がありました。また、自主的に冷たい麦茶を用意してもてなす家や流木と和紙で作った灯りアートで夕暮れの町を飾り観光客を迎えていました。食堂や店舗も少なく接する人たちに競いや焦りが見受けられず素朴な人情味が感じられました。近年は空き家も見られるようになり、自治会では「焼き杉板景観」を地域の宝として新たな活性化に向けた取り組みを始めています。今回の町並みゼミで有識者等多くの人か

ら価値が認められ注目されるようになることが想像されますが、焼き杉板の町に根づいた自然な生活感や素朴な風情など、今の竹野町を何時までも残し伝えてほしいと感じてきました。 【文責：板並】

守る会活動スローガン ～守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

＝ 6月の活動報告 ＝

- 6月 5日 荻町交通対策委員会
- 6月 10日 6月定例会及び伝建制度学習会
- 6月 11日 ねそ6月号配付、新聞社取材（会長）
- 6月 12日 全国町並みゼミ豊岡大会（～13日）
- 6月 14日 白川郷獅子舞競演会（白川八幡神社境内）
- 6月 14日 トヨタ白川郷自然学校10周年記念式典・理事会
- 6月 17日 第2回柿じいの白川遺産学セミナー
- 6月 19日 白川郷合掌造り保存財団評議員会
- 6月 26日 日本ナショナルトラスト打ち合わせ会（和田家）
- 6月 29日 合掌家屋保存組合総会（役場・会長）

＝ 区民の皆様へ ＝

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をお願いします。

- ※ 8月の定例会は7日(金)、公民館にて開催を予定しています。
- ※ 第3回柿じいの白川遺産学セミナーは、7月15日(水)19:00～。

☆ 7月の協議事項（現状変更申請に関わって） ☆

- | | | |
|-------------------|----------------------|----------------------|
| ***** 家の壁の塗り替え | ***** 桜の伐採 | 白川八幡神社・・・酒倉ガスボンベ囲い設置 |
| ***** 本屋の屋根葺き替え | ***** 本屋東側に建具取付（再審査） | 白川村・・・旧藤坂家改修工事 |
| 白川村・・・荻町公衆トイレ改修工事 | 白川村・・・荻町観光案内所改修工事 | 白川村・・・旧花植家改修工事 |
| 白川村・・・村道道路維持修繕業務 | 白川村・・・白川郷技術伝承館暗渠排水工事 | |